令和2年3月31日現在

その他

11億3,426万1千円

(2.4%)

7億8,163万8千円 (68.9%)

35億8,324万円 (7.7%)

31億1,148万円 (86.8%)

予算現額

(①に対する構成比率)

支出済額

(項目ごとの執行率)

繰入金

22億355万7千円

(4.7%)

その他

38億8,057万8千円

(8.3%)

38億4,371万8千円

SO SW

消防費

15億958万8千円

14億6,180万1千円 (96.8%)

総務費

57億9,798万8千円

(12.4%)

34億6,215万7千円

市 税

217億1,905万2千円

(46.6%)

217億7,749万1千円

市 債 14億140万円

(3.0%)

11億2,500万円

(80.3%)

## 犬泥のあらまし

最終予算額 696億8,898万円

公債費

23億7,631万8千円 (5.1%)

23億7,512万5千円

(99.9%)

土木費

48億8,887万1千円

(10.5%)

24億3,952万2千円 (49.9%)

予算現額

②に対する構成比率

収入済額

項目ごとの収入率

地方交付税

5,000万円

(0.1%)

3,206万7千円

地方特例交付金

2億9,496万3千円

(0.6%)

3億257万1千円

(102.6%)

般会計の執行状況

衛生費

45億9,000万4千円

(9.9%)

39億1,427万1千円

民生費

(48.8%)

204億6,914万1千円

億7,772万1千円

歳

予算現額

1466億5,799万1千円

支出済額

380億1,513万5千円

(執行率81.5%)

予算現額

②466億5,799万1千円

収入済額

425億8,082万9千円 (収入率91.3%)

都支出金

68億262万1千円

(14.6%)

58億3,102万6千円

繰越金

18億1,450万4千円

(3.9%)

18億1,450万4千円

(100.0%)

歳 入

国庫支出金

79億4,232万3千円

74億8,010万円

(94.2%)

諸収入

5億4,899万3千円

(1.2%)

3億7,435万1千円

(68.2%)

出

市では、皆さんから納めていただいた市税をはじめ、 地方譲与税や国・都からの補助金および交付金、また、市 債などの財源がどのように使われているか、市民の皆さん にその内容をお知らせするとともに、市政運営に一層のご 理解とご協力をいただくため、毎年2回(上半期、下半期) 定期的に財政状況を公表しています。

今回は、令和元年度下半期(令和元年10月1日~2年3 月31日)の財政状況についてお知らせします。

の地方財政の構造的課題に対

限られた行政経営資源

人口減少や少子高齢化等 和元年度予算について 未来をひらく

小金井をめざし

7

り減収となり、依然として厳 算基準の見直し等の影響によ

地方消費税交付金は清

ごみ処理など市が行う事業の

大部分を賄う会計です。

この会計の令和元年度下半

い財政運営となりました。

期の予算現額は、

466億5千79

問財政課財政係(☎042-387-9802)

度の一層の向上に取り組んで ジメント」を実行し、 取り組む予算とし、 を有効活用し市民満足度の向 次小金井市基本構想」に掲げ 緑の改革である「行財政改革 上を図っていくため、 る将来像の実現に向け着実に ノラン2020」と次世代に 見任を果たす 「公共施設マネ 市民満足 市民目 「第 4

回復基調や担当部局の努力に きました。 より市税収入が増となった一 しかしながら、 国内景気の

> 建設や改修、 用地の取得、

なり、 改革を推進していきます。 度化する市民ニーズに的確に 応えるため、より一層行財政 緩めることなく、多様化・高 今後においても財政規律を 前年同期と比べて、 令和元年度の最終予 一般会計、 特別会計

は

執行率81・5%です

 $\widehat{\mathbb{Z}}$ 

下半期の主な建設事業とし

た。

その執行状況は、 収入率91·3%、

歳入で

ると1・1%の減となりまり

万1千円で前年同期と比較す

・7%の減となりました。 般会計 工事、 いました。 「花侵庵」

修復工事などを行

般会計は、市税を主な財

源とし、学校施設の改善や改

道路の整備、

緑地・公園

集会施設などの 教育や福祉、

民健康保険、下水道事業、 ため、 市には、 一般会計とは別に、

特別会計

特定の事業を行う 玉

修工事、はけの森美術館茶室 栗山公園多目的広場改 図書館本館外壁等改修

財源として、 り受ける財源を市債といいま 関などから長期にわたって借 的に進めていくうえで必要な 公共施設の建設などを積極 国や都、 金融機

27万2千円となっています。 これを目的別に見ると33 市債の現債高は、 215億8千

は

庁舎や学校など

との土地、

市

3.3% となった一方、下水道事業が 12 2 % 護保険、 %それぞれ増加しました。 国民健康保険が3・9%の減 額を前年同期と比較すると、 つの特別会計があります。 これらの特別会計の予算現 後期高齢者医療の4 介護保険が2・7 後期高齢者医療が

> 取得の文化センター等事業 9・2%が市民交流センター

市債

の借金があることになり、こ 3・2%が小中学校等義務教 4・2%の減となります。 れを前年同期と比較すると、 水道の建設等の下 たりでみると、17万6千15円 となっています。 育施設の建設の義務教育事業 2・3%が減税補てん債 市民一人当 水道債、

# 市有財

が保有してい

### る財産に

### 性ログサクサイド

特別会計の執行状況			(令和2年3月31日現在)		
区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	103億1,757万1千円	98億4,639万8千円	95.4%	96億9,856万5千円	94.0%
下水道事業	16億5,373万9千円	16億5,342万1千円	100.0%	12億1,601万8千円	73.5%
介護保険	83億8,528万2千円	78億9,654万円	94.2%	75億2,876万円	89.8%
後期高齢者医療	26億7,439万7千円	26億6,203万2千円	99.5%	26億2,490万円	98.1%

時借入金はありません。 令和元年度の下半期は、

時借入金は、歳出予算で

# 一時借入金

の一般土木債、5・

8・0%が道路

野の整備 4%が下

と比較すると1・0%の増と なりました。 | 千昭万円となり、前年同期 市有財産の現在高は、処億

など多くの財産があります。 建物、そのほか、物品や基金 (図 3)

28・3%が臨時財政対策債、

6%をまちづくりのための都

市計画事業債が占め、次いで

対対象 定定員 ¥費用 持持ち物 申申し込み 問問い合わせ 他その他 Prホームページ 図Eメール

時日時 所場所 内内容 講講師

ばならないことになっていま

月31日)までに返済しなけれ

現金をいい、出納閉鎖日(5

るため、短期的に借り入れる き、不足する現金を補てんす 定められた経費を支出すると